



AIR断震 倶楽部通信 59

世界初！空気の力で家を浮かす！
揺れない家が家族を守る



「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。

株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。

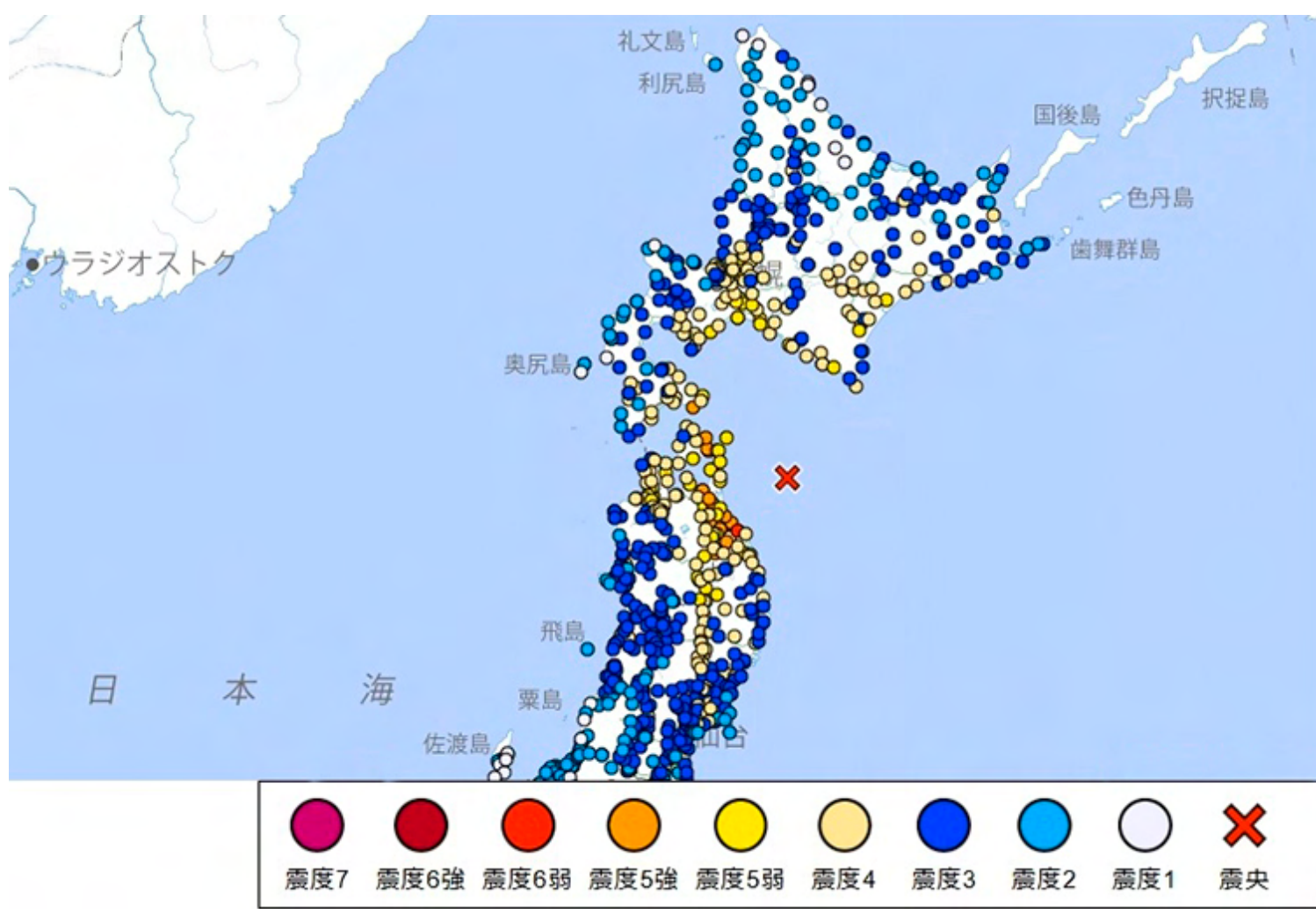
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。

※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

青森県東方沖で震度 6 強の地震発生 「後発地震注意情報」を初めて発表

12月8日 23時 15分ごろ、青森県東方沖を震源とするマグニチュード 7.5（最大震度 6 強）の地震が発生。2011 年の東日本大震災以降、最も震度の大きい地震である 2024 年 1 月 1 日の令和 6 年能登半島地震は、マグニチュード 7.6、最大震度 7 でしたが、今回はそれに次ぐ大きな震度でした。ちなみに近年の最大震度 6 強の地震は、2021 年、2022 年の福島県沖地震、2023 年の能登半島地震です。この地震で北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、岩手県に津波警報が発表され、さらに宮城県・福島県などを含む広域に津波注意報が発表されました。岩手県久慈港で約 70 cm の津波を観測、その他の地域でも津波の観測はありましたが、幸いにもそれほど大きな被害はありませんでした。

●青森県東方沖地震震度分布（2025 年 12 月 8 日）



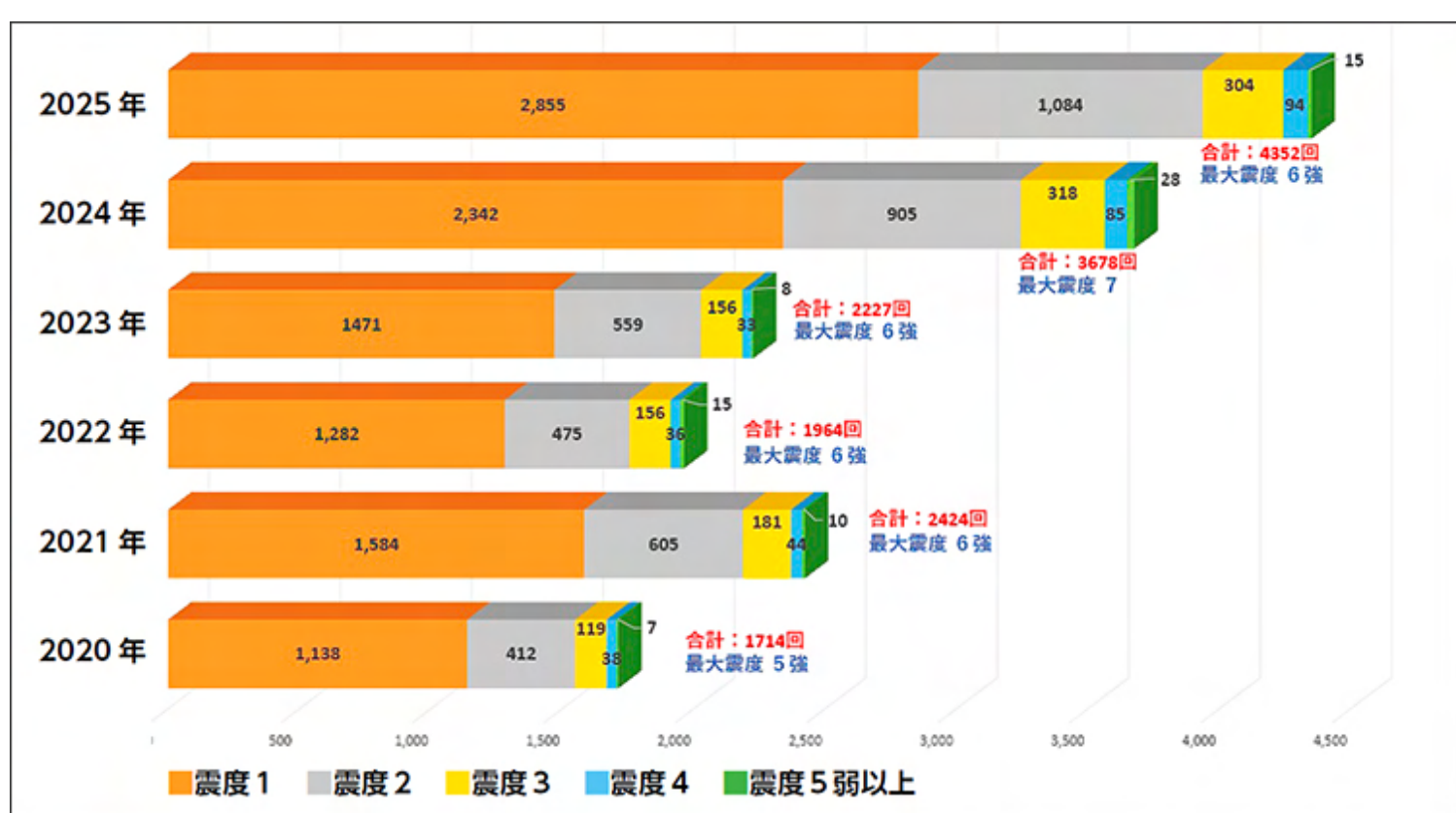
* 出典：気象庁

この地震を受け、気象庁は「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表しました。「後発地震注意情報」は、日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード 7 級の地震発生後、より大きな巨大地震（後発地震）の発生可能性が相対的に高まった際に内閣府と気象庁が発表する注意情報で、2022 年 12 月より運用開始され、今回の地震で初めて発表されました。この情報は対象地域住民の即時の避難を求めるものではなく、「巨大地震の確率が平常時より高まっている」との注意喚起を促すものです。

12月8日から12月15日の間に発生した、この地域を震源とする震度 1 以上の地震は合計 37 回（震度 6 強：1 回、震度 4：3 回、震度 2：11 回、震度 1：22 回）となっています。一週間が経過しましたが、「もう後発地震の心配はない」ということではありません。いつ地震が来ても大丈夫な備えをしっかりとすることが大切です。

2025 年の地震発生回数（震度 1 以上）は 前年比約 118%の 4352 回（12 月 14 日まで）

■年度別地震発生回数（震度 1 以上） ※2025 年は 12 月 14 日まで



2025 年の震度 1 以上の地震発生回数は 4352 回（12 月 14 日まで）で、熊本地震のあった 2016 年以降最も多い年になりました。これは前年から続いているトカラ列島群発地震によるものです。南海トラフ地震の想定区域内の日向灘地震、東日本大震災の余震が懸念される福島県、青森県の地震には注意が必要でしょう。

詳しくはHPへ▶

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！

「エアー断震システム」

地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが作動。エアータンクから空気を送り込んで家を浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。

震度 7 の揺れを約 1/30 に軽減

詳しくはHPへ▶



▲国立研究開発法人 防災科学研究所での実証実験の様子

震度 7 を想定した住宅の浮上実験をご覧ください。

「AIR 断震倶楽部通信」
バックナンバーはこちらから▶

「エアー断震システム」
詳しい資料請求はこちらまで▶

「エアー断震システム」
の効果を体感してみませんか。
関東に 4 カ所体験できる展示場があります。

バックナンバー▶

資料請求▶

展示会場▶

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後まで読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》

株式会社 三誠AIR断震システム

〒104-0033 東京都中央区新川 1-6-1 2 M&Sビル 3 階

TEL：03-3551-0272 FAX：03-3551-0273

info@airdanshin.co.jp <https://airdanshin.co.jp>

※このメールの内容に関するご意見・ご質問は[こちら](#)